

# 保証書

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

|                  |   |
|------------------|---|
| 品番 FA2102/FA1103 |   |
| S/No.            |   |
| お買い上げ日           | 年 月 日<br>お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。                               |
| 保証期間             | 対象部分 機器本体(消耗部品は除く)<br>お買い上げの日から1年                                     |
| お客様のご住所          | 様<br>TEL( )   |
| 販売店              | 店名・住所<br>上記に記入または捺印のない場合は、必ず販売店発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものをお貼りください。 |

無効

## <無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意事項に従った正常なご使用状態で故障した場合は、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、本機に関するお問い合わせ先へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
  - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
  - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
  - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
  - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
  - (ヘ) 本書のご提示がない場合
  - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
  - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
  - (リ) 対象製品を直接修理窓口へ送付していただく際の送料等はお客様負担となります。
  - (ル) 出張修理等に係る費用はお客様のご負担となります。
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.

|         |
|---------|
| 故障内容記入欄 |
|---------|

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。  
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、本機に関するお問い合わせ先へご連絡ください。

## 監視レコーダー

# FA 2102 / FA 1103

## 取扱説明書

このたびは、ユピテルの監視レコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本製品は、常時録画とトリガに対応したイベント記録を行います。

## HDR 搭載

(ハイダイナミックレンジ)

白トビや黒ツブレを抑え、より明瞭な映像を記録します。

本機には SD カードが付属しておりません。別売品の SD カードをお買い上げの上ご使用ください。

初めてご使用の際は、専用ビューアソフトで必ず SD カードメンテ初期化を行ってから使用してください。

また、本機で使用する専用ビューアソフトは、弊社ホームページからダウンロードしてご使用ください。

(<https://www.yupiteru.co.jp>)

## ⚠ 注意

- ・電源 ON 時に SD カードの抜き差しを行わないで下さい。SD カードの破損の原因となります。必ず電源 OFF 後、ステータスランプ、録画ランプが 3 秒以上消灯したことを確認し、SD カードの抜き差しを行ってください。

## 確認とご注意

|               |   |
|---------------|---|
| 安全上のご注意       | 3 |
| 使用上のご注意       | 6 |
| SDカードメンテ初期化する | 9 |

## 基礎知識

|                      |    |
|----------------------|----|
| 各部の名称と働き             | 10 |
| 1. 付属品               | 12 |
| 2. 別売品               | 12 |
| SDカードの装着 / 取り外し      | 13 |
| 1. SDカードを本機に装着する     | 13 |
| 2. SDカードを本機から取り外す    | 14 |
| レンズ交換方法 (FA1103)     | 15 |
| 1. 取り外し              | 15 |
| 録画について               | 16 |
| 1. 常時録画について          | 17 |
| 2. イベント記録について        | 17 |
| 3. 上書きモード (OFF) について | 18 |

## 使ってみる

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 本機の取り付け               | 19 |
| 1. 本機を取り付ける           | 19 |
| 2. 電源を接続する            | 20 |
| 専用ビューアソフトのインストール      | 23 |
| 1. 専用ビューアソフトをインストールする | 23 |
| 動作テスト                 | 24 |
| 1. 専用ビューアソフトでの準備      | 24 |
| 2. 本機の準備              | 26 |
| 3. 映像の確認              | 26 |
| 4. テスト記録の確認           | 28 |
| 5. 画面説明               | 30 |
| 6. 再生する               | 32 |

|                   |    |
|-------------------|----|
| 記録した録画ファイルを保存する   | 34 |
| 1. 静止画変換          | 34 |
| 2. バックアップ         | 35 |
| 専用ビューアソフトで設定を変更する | 37 |
| 1. 記録設定           | 37 |
| 2. 日時設定           | 40 |
| 3. ネットワーク設定       | 40 |
| 4. SDカード情報        | 40 |
| 5. SDカードメンテ初期化    | 41 |
| 6. 録画データ削除        | 42 |
| 7. 記録設定データ初期化     | 43 |
| 8. 専用ビューアソフトを終了する | 44 |
| ブラウザで本機を操作する      | 44 |

## その他

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 録画ファイルの読み出しについて               | 45 |
| 1. 専用ビューアソフトを使用せずに録画ファイルを再生する | 46 |
| 故障かな?と思ったら                    | 47 |
| エラーメッセージ一覧                    | 49 |
| 動作一覧                          | 50 |
| 仕様                            | 51 |
| 映像記録時間の目安                     | 53 |
| 1. イベント記録の記録件数目安              | 53 |
| 2. 記録可能時間の目安                  | 53 |
| アフターサービス                      | 54 |
| 本機に関するお問い合わせ先                 | 55 |

## 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすることで生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告：「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。

⚠ 注意：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

## ■ 絵表示について

! 必ず実行していただく「強制」内容です。

⊘ してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

👉 関連するページを表示します。

## ● 安全上お守りいただきたいこと

## ⚠ 警告

! 異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると火災や発火、感電の恐れがあります。

< 異常な状態の例 >

- 内部に異物が入った
- 水に浸かった
- 煙が出ている
- 変なにおいがする

すぐに使用を中止し、電源 OFF し、本機に関するお問い合わせ先をご参照ください。

● P.54「アフターサービス」

! 心臓ペースメーカーなどの医療機器をご使用のお客様は、医療機器への影響を医療用機器製造業者や担当医師にご確認ください。

! 持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本体を使用される前に医師にご相談ください。

! 作業を始める前に必ず工作機械のメインブレーカーを OFF してください。

感電して死亡することや、ショートして機械が破損する恐れがあります。

 本機を次のような場所に保管しないでください。

変色や変形、故障の原因となります。

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、湿度が非常に高い所

- 湿気やほこり、油煙の多い所

 本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。

破裂、発火や火傷の原因となります。

 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。

 サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整修理は販売店にご依頼ください。

 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

 本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。

爆発や火災の原因となります。

 本機は精密機械です。

静電気 / 電氣的ノイズなどでデータが消えることがあります。データが消えると動作しません。

 SD カードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

## 注意

 結露したまま使い続けしないでください。

故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本体内に結露が生じることがあります。)

 濡れた手で操作しないでください。

感電の原因となります。

 落としたり、強いショックを与えないでください。

破損、故障の原因となります。

 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。

故障の原因となります。

 本機の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。

故障の原因となります。

## ● SD カードについて

### 警告

 SD カードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入して下さい。無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

 SD カードの出し入れは、本機の電源 OFF 後、ランプが消灯したことを確認してから行ってください。

## ● 本機のお手入れについて

### 警告

 カメラのレンズが汚れている場合は、柔らかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などで拭くと傷の原因となります。

 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にてご相談ください。

 ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用して拭かないでください。  
塗装面を傷めます。

## ● 防水機能について

### 警告

 FA2102 は防水設計になっていますが、完全防水ではありません。SD カードカバーを開けた状態では、防水性能を維持できません。必ず SD カードカバーを閉めた状態で使用してください。内部に水などの液体をかけたり濡らしたりしないでください。故障の原因となります。

 FA1103 は防水設計ではありません。

## 使用上のご注意

本機を取り付けたことによる、工作機器や設備などへの、故障などの付随的損害について、当社は一切のその責任を負いません。

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造などによって生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用方法およびその他遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の取り付けによる変色・変形（跡が残る）に関し、当社では補償いたしかねます。

### ■ 取り付けに関する注意

- ・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。
- ・本機の近くに GPS 機能を持つ製品を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

### ■ 撮影された映像について

- ・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

### ■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品と組み合わせたときの動作については保証しておりません。動作検証は行っておりませんので、あらかじめご了承ください。

### ■ 取り扱いに関する注意

- ・本機が汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気が起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学雑巾、洗剤は使用しないでください。

### ■ 保証に関する注意

- ・本製品にはお買い上げから 1 年間の保証が付いています。（ただし、電源ケーブルや消耗品は保証の対象となりません。）

### ■ SD カードに関する注意

- ・SD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- ・重要な録画データは、パソコンに保存や DVD など別媒体での保管をお勧めします。
- ・SD カードリーダーライターは、使用の SD カード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用すると、データの破損などにより、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- ・SD カードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中に SD カードの挿入 / 取り出しを行うと、SD カードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・SD カードは NAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定して使用いただくため、1～2 週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- ・SD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や SD カードエラーになり使用できない場合があります。

- ・SD カードは必ず別売品を使用してください。市販品の SD カードを使用すると、正常に録画できない場合があります。
- ・本機を使用中にデータが消失した場合でも、データなどの保証について、弊社は一切その責任を負いません。

### ■ 録画についての注意

- ・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本機で録画した映像は、使用目的、使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切の責任を負いません。
- ・映像を正常に録画するため、カメラのレンズは常に清潔にしてください。
- ・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のような取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
  - ※ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
  - ※ 水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
  - ※ パソコンの操作時に誤った取扱を行った場合。

## ■ 電波干渉について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線設備として技術基準適合を受けています(受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

日本国内のみで使用してください。海外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。

・本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、およびアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

・万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、本機に関するお問い合わせ先にご連絡いただき、混信回避の処置などについてご相談ください。

## 2.4 DS/OF 4

・この表示は 2.4GHz 帯を使用している製品であることを意味します。

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

DS/OF : 変調方式が DS-SS、OFDM であることを表示します。

4 : 電波干渉距離は 40m です。

■ ■ ■ ■ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

## SD カードメンテ初期化する

別売品の SD カードをお買い上げ後初めて使用する際、また、1～2 週間に一度、必ず専用ビューアソフトで SD カードメンテ初期化を行ってください。

定期的な SD カードメンテ初期化を行わないと、エラーの原因になります。

※ SD カードメンテ初期化は管理者権限で専用ビューアソフトを起動して行ってください。

### SD カードメンテ初期化の手順

#### 1 専用ビューアソフトをインストールしたパソコンに SD カードを挿入する

専用ビューアソフトインストール方法 (▶ P.23)

#### 2 MENU (MENU) をクリックし、[設定]の[機種選択]から [FA2102/FA1103] を選択する



#### 3 (記録設定) をクリックし、[DRIVEREC1] を選択し、[OK] をクリックする



#### 4 [SD カードメンテ初期化] をクリックする



完了のお知らせを確認後、SD カードをパソコンから抜き本機に装着し、使用してください。

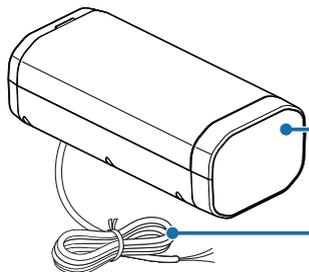
## 各部の名称と働き

本取扱説明書では特に記載がない限り FA2102 の挿絵を使用し、説明します。

### 注意

- ・本機の microUSB コネクタは USB 端子ではありません。故障の原因となりますので、本機をパソコンなど他の機器の USB 端子と接続しないでください。
- ・本機は USB 端子からの給電には対応しておりません。USB 端子を使って、本機へ電源を供給しないでください。
- ・本機の microUSB コネクタにケーブルを無理やり押し込むと、本機が破損する恐れがあります。

### FA2102



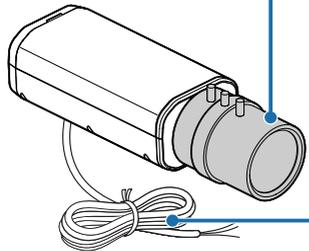
#### レンズカバー

※ ご購入時には保護フィルムが貼ってあります。  
ご使用時にはがしてください。

#### 電源ケーブル (約 2m)

電源および工作機械の出力線と接続します。(● P.20)

### FA1103



#### ズームレンズ (● P.52)

※ 必要に応じて取り外し変更ができます。(● P.15)

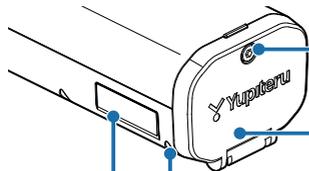
※ ご購入時には保護キャップが装着されています。ご使用時には取り外してください。

※ 取り外した際、保護キャップを付け、湿気やほこりの多い場所では保管しないでください。

#### 電源ケーブル (約 2m)

電源および工作機械の出力線と接続します。(● P.20)

### 共通部



#### ロックネジ (M3 × 10)

SD カードカバーを開ける際に付属品の六角レンチで緩めます。

#### SD カードカバー

開けると SD カードの取り付け・取り外しができます。  
また、HD out 端子、micro USB 端子があります。

#### ストラップ穴

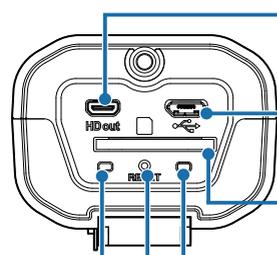
ストラップを取り付けられます。(● P.19)

#### ID ラベル

本機の MAC アドレス、機器 ID が記載してあります。



### 共通部 (カバーを開けたとき)



#### HD out 端子

市販品の microHDMI ケーブルを接続し、モニターに表示します。(● P.26)

#### micro USB 端子

メンテナンス用です。お客様が使用することはできません。

#### SD カード挿入口

別売品の SD カードを挿入します。(● P.13)

#### 録画ランプ (青)

録画状態をランプでお知らせします。(● P.50)

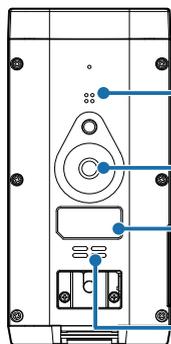
#### リセットボタン

本機が異常動作した場合に、ペン先などで 1 秒以上押ししてください。(● P.48)

#### ステータスランプ (緑・赤)

本機の無線 LAN 接続状態、エラーを検知したときにランプでお知らせします。(● P.50)

## ■ 共通部（底面）



## ● マイク

周囲の音を収集します。(● P.38)

## ● 取り付けネジ

本機を取り付ける際に使用します。(● P.19)

## ● 定格ラベル

本機のシリアルナンバー、電源定格が記載してあります。

## ● スピーカー

イベント記録時や異常時に音がでます。また音声にて動作をお知らせします。\*(● P.38)

※ 音声出力 [ON] に設定時

## 1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

■ 取扱説明書・保証書（本書）…………… 1

■ 六角レンチ (2.5mm) …………… 1

SD カードカバーを開閉する際に使用します。

## 2. 別売品

■ 16GB SD カード OP-SD16F …………… 本体 5,500 円

■ 32GB SD カード OP-SD32F …………… 本体 11,000 円

■ 64GB SD カード OP-SD64F …………… 本体 19,800 円

■ 128GB SD カード OP-SD128F …………… 本体 33,000 円

■ AC アダプター OP-E856 …………… 本体 4,950 円

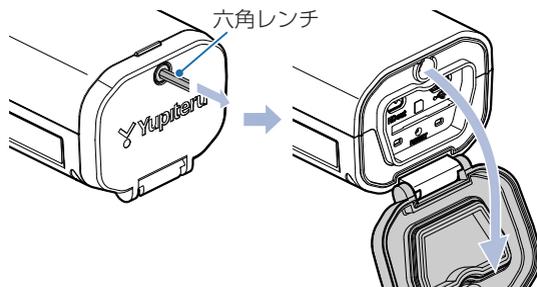
## SD カードの装着 / 取り外し

## 1. SD カードを本機に装着する

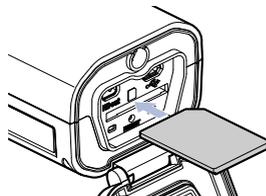
## 1-1 本機を電源 OFF する

ステータスランプ、録画ランプが消灯していることを確認してください。

## 1-2 付属の六角レンチでロックネジを緩め、SD カードカバーを開ける



## 1-3 SD カードを挿入する



## 1-4 カバーを閉じ、付属の六角レンチでロックネジを締める

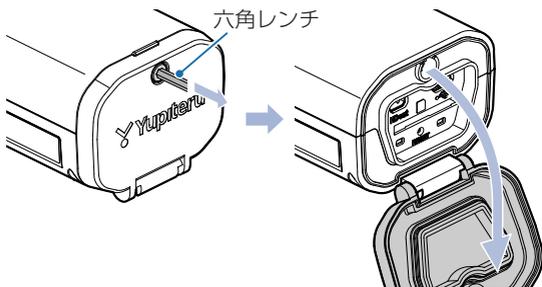
※ カバーはしっかりと閉じてください。

## 2. SD カードを本機から取り外す

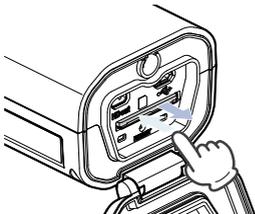
### 2-1 本機を電源 OFF する

ステータスランプ、録画ランプが消灯していることを確認してください。

### 2-2 付属の六角レンチでロックネジを緩め、SD カードカバーを開ける



### 2-3 SD カードを押し込み、SD カードが少し飛び出してから引き抜く



※ SD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

## レンズ交換方法 (FA1103)

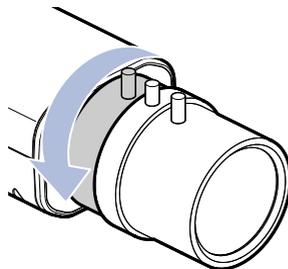
FA1103 は市販品のレンズと交換することができます。

※ 本章では付属のレンズの取り外し方法を説明します。

使用できるレンズマウントは CS マウントです。

### 1. 取り外し

#### 1-1 ズームリング部をつかみ矢印の方向に回す



付属のズームレンズにはマウントのスリップ機能が付いています。矢印の方向に回して引っかかるような感触がしてから、さらに矢印の方向に回してください。

※ 取り外す際、レンズ部に触れないようにしてください。

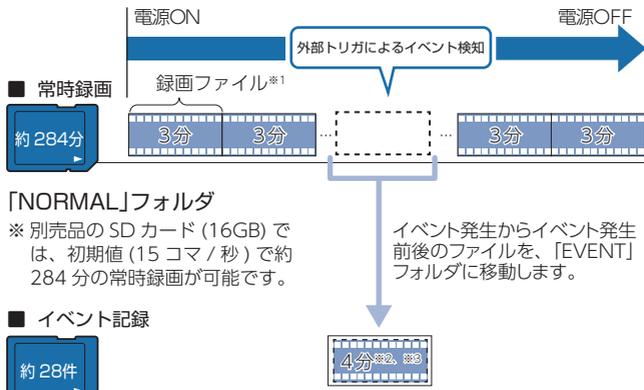
※ 取り外し後、レンズに付属しているキャップを装着し保管してください。

※ レンズを取り外した状態で、CMOS センサに触れないでください。また、本体とレンズ内にホコリなどが入らないよう注意してください。

取り付けは取り外しと逆の手順となります。

## 録画について

本機は常時録画とイベント記録の両方を行います。



### 「NORMAL」フォルダ

※ 別売品のSDカード(16GB)では、初期値(15コマ/秒)で約284分の常時録画が可能です。

### イベント記録



### 「EVENT」フォルダ

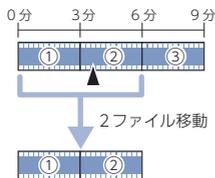
※ 別売品のSDカード(16GB)では、初期値(15コマ/秒、イベント前:3分・イベント後:1分、常時録画最小記録時間10分)で約28件のイベント記録が可能です。録画コマ数、イベント記録時間、常時録画最小記録時間は設定から変更できます。(● P.37)

※ 1: 録画ファイルの構成は、録画コマ数によって異なります。上記は初期値(15コマ/秒)での録画ファイル構成です。

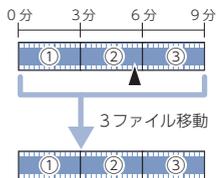
※ 2: イベント発生のタイミングによって移動するファイルが異なります。

例: 初期値(15コマ/秒、イベント前3分、イベント後1分)の場合

イベント発生のタイミングが3分以上5分未満



イベント発生のタイミングが5分以上6分未満



※ 3: イベント記録時間は変更できます。4分(イベント前:3分・イベント後:1分)は初期値です。(● P.39)

- ・ 初期値ではSDカードがいっぱいになると、古い録画から上書きして録画を続けます。設定により上書き時の動作を変更することができます。(● P.39)
- ・ SDカード未挿入時や異常時、またはSDカードエラーが起きた場合は映像を記録することができません。

## 1. 常時録画について

本機の電源ONから電源OFFまでの映像をSDカードに録画します。

### 録画ファイル構成

初期値(15コマ/秒)で1ファイルあたり約3分で生成します。  
※ 録画ファイル構成は、録画コマ数によって異なります。

### 録画可能時間

初期値(15コマ/秒)で、別売品のSDカード(16GB)に約284分の常時録画が可能です。SDカード容量によって録画可能時間は異なります。(● P.53)

### 上書きモード

初期値では「上書きモード」が[ON(常時+イベント)]のため、284分以降も古いファイルから上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(● P.39)

## 2. イベント記録について

外部トリガの信号入力があると、録画ランプ(青)が点滅し、1データ単位の映像をSDカードの専用フォルダに移動します。

### 録画ファイル構成

イベントの発生前後を含む録画ファイルを常時録画フォルダから移動します。

※ イベント記録の記録時間は、設定から変更できます。(● P.39)

### ・最大記録件数

別売品のSDカード(16GB)に初期値(15コマ/秒)で約28件のイベント記録が可能です。

SDカード容量によって最大記録件数は異なります。  
(☛ P.53)

### ・上書きモード

初期値では「上書きモード」が[ON(常時+イベント)]のため、記録件数が28件を超えても古いファイルから上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。イベントの発生前後を含む録画ファイルを常時録画フォルダから移動します。

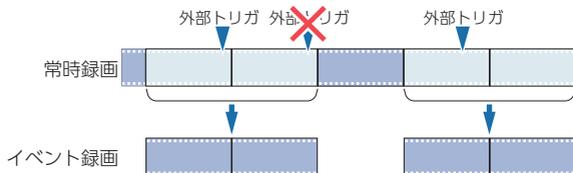
※イベント記録の記録時間は、設定から変更できます。  
(☛ P.39)

### ■ 外部トリガ設定

初期値は[シングルトリガ]に設定されています。

#### ・シングルトリガ

- ※ イベント記録中に発生したトリガはすべて無効になります。
- ※ 専用ビューアのタイムラインにも表示されません。



#### ・マルチトリガ

発生したイベント記録をすべてイベントフォルダに移動します。

## 3. 上書きモード (OFF) について

上書きモード (OFF) にすると、データ容量の上限に達した場合、録画ランプ (青) が消灯し、各記録方法での録画を停止します。

※ 初期値は、「ON(常時+イベント)」です。

※ 常時録画とイベント記録でSDカードがいっぱいになると常時録画を停止します。常時録画が停止するとイベント記録もできなくなります。

## 本機の取り付け

### 取り付け時の注意

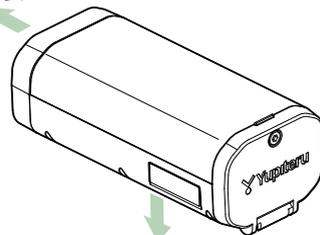
天井などで吊り下げて使用する場合、専用ビューアソフトで記録設定の映像の回転を [180度] に設定してください。  
(☛ P.38)

※本機は、横向きの取り付けには対応しておりません。予めご了承ください。

## 1. 本機を取り付ける

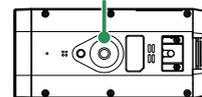
### 1-1 本機底部のネジを利用し取り付ける

監視エリア



取り付け部分

取り付けネジ部分  
1/4 インチネジ



※ レンズが監視エリアを向くように取り付けてください。

※ 本体のストラップ穴を使って、市販品のストラップなどで落下防止の対策をしてください。本体落下による故障に対しては、一切の責任を負いません。

### <ストラップの取り付け方>

右図のようにストラップを取り付けてください。



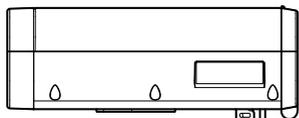
## 2. 電源を接続する

### 警告

・本機の電源を工作機械から供給している場合などは、作業を始める前に必ず工作機械のメインブレーカーを OFF してください。感電して死亡することや、ショートして工作機器が破損する恐れがあります。

- ・ケーブルが長い場合は、切断して調整してください。
- ・接続イメージ例を参考に接続してください。(▶ P.21)
- ・工作機械の振動などで配線が外れないようにしっかりと接続してください。

### ケーブル構成



電源 (赤)

→ 主電源 12/24V に接続する。

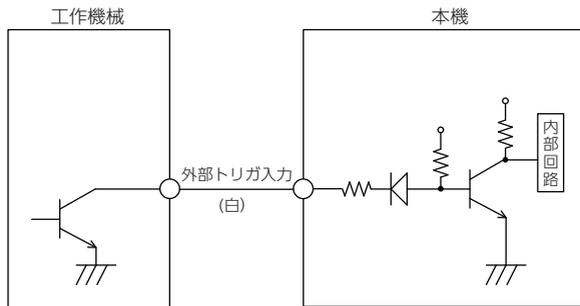
外部トリガ入力 (白)

→ 外部トリガ出力線に接続する。  
※ 外部トリガ入力等価回路図を参照ください。

GND 線 (黒)

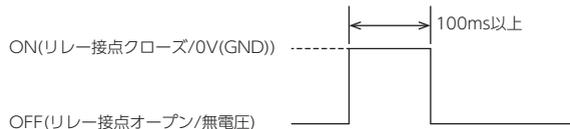
→ 主電源 GND に接続する。

### 外部トリガ入力等価回路図



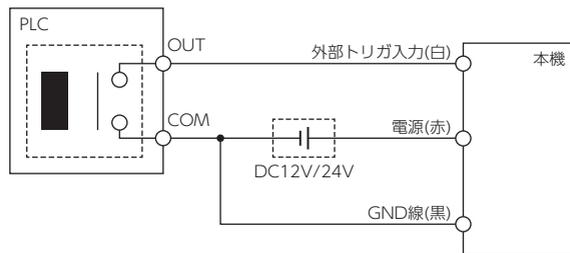
### 外部トリガ信号の入力仕様

外部トリガ出力は、5mA 以上の電流を引き込んでください。

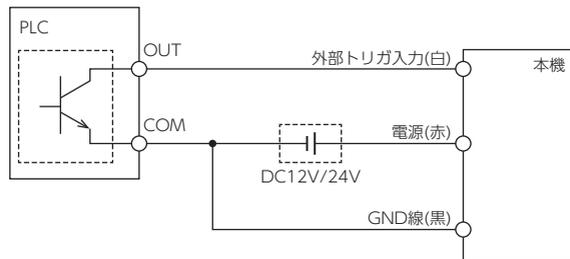


### 接続イメージ例

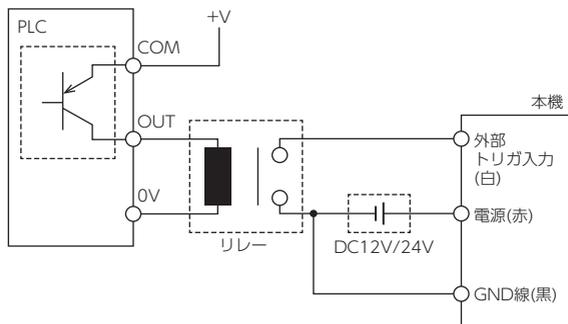
- ・ リレー出力



- ・ トランジスタ出力 [ シンクタイプ (NPN オープンコレクタ) ]  
※ PLC が ON する際に、OUT-COM 間の電圧が 0.5V 未満になる接点を使用する必要があります。  
0.5V 以上の場合、接点の検出が正しく行われません。

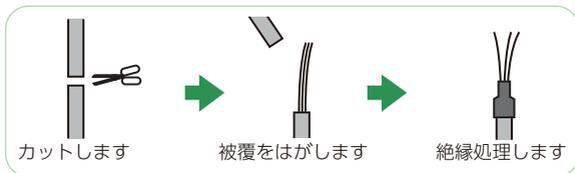


・トランジスタ出力 [ シンクタイプ (PNP オープンコレクタ) ]



## ■ ケーブルの切断

本機のケーブルが長い場合は、切断することができます。



## 専用ビューアソフトのインストール

本機で記録した映像は、専用ビューアソフトを使いパソコンで見ることができます。対応 OS や動作環境に関する最新情報は、弊社ホームページをご確認ください。

- ※ 本体とパソコンを、直接 USB ケーブルなどで接続しないでください。
- ※ 本体から SD カードを取り出して、SD カードをパソコンと接続してください。
- ※ 動作環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ※ お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※ CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなる場合があります。

### 1. 専用ビューアソフトをインストールする

弊社ホームページより専用ビューアソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。

- ※ インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。  
<http://www.yupiteru.co.jp>
- ※ 誤って専用ビューアソフトを削除した場合、または OS やシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ビューアソフトをインストールしてください。
- ※ Windows アップデートなどにより専用ビューアソフトが、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

## 動作テスト

ご使用になる前に、必ず下記の手順で動作テストを行ってください。テストを行わない場合、正常に動作しない場合があります。

### 1. 専用ビューアソフトでの準備

#### 1-1 [PC Viewer Type L] アイコンをダブルクリックする



専用ビューアソフトが起動します。

※ 専用ビューアソフトをインストールする際、デスクトップ上にアイコンを作成できます。

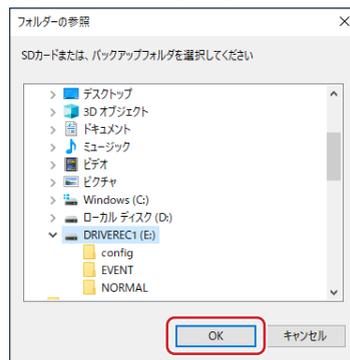
#### 1-2 パソコンに本機で使用する SD カードを挿入する

#### 1-3 [MENU] (MENU) をクリックし、[設定]の[機種選択]から[FA2102/FA1103]を選択する



※ 機種選択をしないと記録設定をすることができません。

#### 1-4 (記録設定) をクリックし、[DRIVERREC 1]を選択し、[OK] をクリックする



#### 1-5 [SD カードメンテ初期化] をクリックする



SD カードメンテ初期化方法の詳細手順は P.41 「SD カードメンテ初期化」を参照ください。

#### 1-6 パソコンから SD カードを取り出す

## 2. 本機の準備

### 2-1 SD カードカバーを開ける

### 2-2 専用ビューアソフトで SD カードメンテ初期化済みの SD カードを挿入する

本機の電源 OFF (ランプが全て消灯) を確認して、SD カードを挿入してください。

※ SD カードメンテ初期化を行っていない SD カードを挿入しても、正しく動作しません。

## 3. 映像の確認

映像を確認するには、二つの方法があります。

- ・専用ビューアソフトを使用する。( P.28)
- ・HD out 端子を使用し、映像をモニターに映し出す。

※ HD out 端子を使用し、モニターに映像を映し出すには、市販品のモニター、micro HDMI ケーブルが必要になります。

### 3-1 本機とモニターを micro HDMI ケーブルで接続する

### 3-2 モニターを電源 ON する

### 3-3 本機を電源 ON する

本機に電源が供給されると録画ランプ (青) が点灯し、録画が開始されます。

※ 録画ランプが点灯しない場合は、 P.47「故障かな? と 思ったら」をご参照ください。

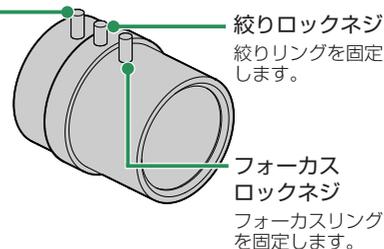
| ステータスランプ   | 録画ランプ  |
|------------|--|
| 動作中<br>消灯  | 常時録画中<br>(青) <br><br>外部トリガイイベント発生時<br>(青)  |
| 非動作中<br>消灯 | 録画停止中<br>消灯  |

## 3-4 被写体を映し、映り具合の調整をする

各ロックネジをゆるめ、映り具合やピントを調整します。調整が完了したら各ロックネジを固定します。\*

※ FA1103 のみ

ズームリング  
ロックネジ  
ズームリングを固定  
します。



### ■ モニターに映る映像



| No. | 表示名      | 表示の意味          |
|-----|----------|----------------|
| ①   | REC アイコン | 録画中に表示されます。    |
| ②   | 録画時間     | 録画時間を表示します。    |
| ③   | 機器 ID    | 本機の ID を表示します。 |
| ④   | 日時       | 本機の日時を表示します。   |

3-5 本機を電源 OFF する

3-6 本機から SD カードを取り出す

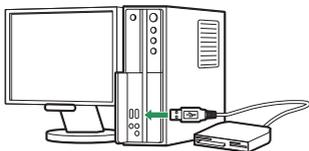
3-7 SD カードカバーを閉じる



## 4. テスト記録の確認

※ 本ビューアソフトは、本機専用ビューアソフトです。本機以外の機種で記録した映像は読み込むことができません。

4-1 リーダーライターをパソコンに接続する



4-2 SD カードをリーダーライターに挿入する



4-3 デスクトップの [PC Viewer Type L] アイコンをダブルクリックする

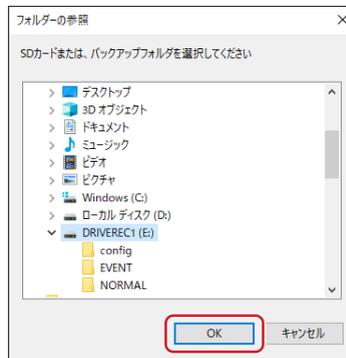


専用ビューアソフトが起動します。

4-4 (フォルダ選択) をクリックする



4-5 [DRIVEREC1] を選択し、[OK] をクリックする



## 5. 画面説明



| No. | 表示名         | 表示の意味  |
|-----|-------------|--|
| ①   | フォルダ選択・記録設定 | <p> フォルダ選択: 読み込むフォルダを選択します。</p> <p> 記録設定: 本体の設定を変更します。(● P.37)</p> |
| ②   | MENU        | MENUを開きます。   |
| ③   | カレンダー表示     | <p>カレンダーを表示します。</p> <p>日付をクリックするとその日付の録画ファイルが選択されます。(● P.33)</p>   |
| ④   | 再生リスト       | 録画ファイルを表示します。再生リストの詳細は ● P.32 を参照ください。                             |
| ⑤   | 再生ボタン       | 再生や早送りなどの操作を行います。(● P.33)  |
| ⑥   | 情報表示        | 表示しているファイルの録画日時 / 解像度 / 録画コマ数を表示します。                               |
| ⑦   | シークバー       | クリック位置から再生できます。  |
| ⑧   | 音量ボタン       | <p>音量を調整します。</p> <p>※  ミュート時</p>                                   |

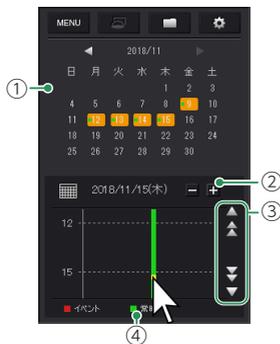
| No. | 表示名                   | 表示の意味   |
|-----|-----------------------|---|
| ⑨   | ウィンドウサイズ切替            | 映像の  全画面表示 /  標準表示を切り替えます。                            |
| ⑩   | 再生画面ツール <sup>*1</sup> | 拡大<br>表示画面の中央を基準に画像を200%拡大します。                        |
|     |                       | 縮小<br>表示画面の中央を基準に画像を50%縮小します。                         |
|     |                       | 画面拡大 <sup>*2</sup><br>マウスの左ボタンでドラッグし、表示させたい部分を拡大します。  |
|     |                       | 画面移動 <sup>*2</sup><br>マウスの左ボタンでドラッグし、表示させたい部分まで移動します。 |
|     |                       | 時計周り回転<br>1クリックで時計回りに90°ずつ回転し、押し続けると1°ずつ回転します。        |
|     |                       | 反時計周り回転<br>1クリックで反時計回りに90°ずつ回転し、押し続けると1°ずつ回転します。      |
|     |                       | 左右反転<br>左右を反転します。                                     |
|     |                       | 上下反転<br>上下を反転します。                                     |
|     | 元に戻す                  | 各操作をそれぞれ元の状態に戻します。                                    |
| ⑪   | 表示エリア                 | 選択した録画ファイルの映像を表示します。                                  |
| ⑫   | プログラム                 | 最小化<br>ウィンドウを最小化します。                                  |
|     |                       | 最大化 / 元に戻す<br>ウィンドウを最大化 / 元に戻します。                     |
|     |                       | 閉じる<br>ソフトを終了します。                                     |
| ⑬   | 機種名                   | 現在選択中の機種を表示します。                                       |

※ 1: 「再生画面ツール」は、自動的に隠すことも可能です。[MENU] → [設定] → [再生画面ツール] → [自動的に隠す] を選択することで自動的に隠すこともできます。自動的に隠す設定で再生画面ツールを表示する場合は、再生画面ツールが表示される付近にマウスのカーソルを近づけると表示されます。

※ 2: クリックすると「画面拡大」と「画面移動」が切り替わります。

## 6. 再生する

### 6-1 再生したい録画ファイルアイコンをクリックする



| No. | 内容  |
|-----|---|
| ①   | カレンダー表示です。  |
| ②   | タイムラインの拡大縮小をします。<br><b>+</b> : 拡大、 <b>-</b> : 縮小<br>※ キーボードの [Ctrl]+ マウスホイールでも拡大縮小が可能です。                |
| ③   | タイムラインをスクロールします。<br><b>▲</b> / <b>▼</b> : タイムラインをスクロールします。<br><b>▲</b> / <b>▼</b> : タイムラインを表示分スクロールします。 |
| ④   | 各録画ファイルのアイコンです。<br><b>■</b> (赤): イベント記録<br><b>■</b> (緑): 常時録画   |

再生したい録画ファイルアイコンにカーソルを持っていくと黄色になります。

※ 日付を指定して録画ファイルを再生することもできます。

### 6-2 サムネイルをクリックする



再生エリアで録画ファイルが再生されます。

### ■ (カレンダー) 表示

・クリックするとカレンダーの表示、非表示を切り替えます。



②  録画ファイルがある日付はオレンジ色で表示されます。

| No. | 内容  |
|-----|---|
| ①   | 月を変更できます。<br><b>▶</b> : 次の月へ移動します。<br><b>◀</b> : 前の月へ移動します。   |
| ②   | 各録画ファイルのアイコンです。<br><b>■</b> (赤): イベント記録<br><b>■</b> (緑): 常時録画 |

### ■ シークバー

・スライダーをマウスでドラッグすると任意の場所から再生することができます。

シークバー上に  でイベント記録発生ポイントを表示します。



・  をクリックすると再生方法を変更できます。

 : 連続再生 (録画ファイルの最後まで再生すると、再生リストの次の録画ファイルを再生します。)

 : リピート再生 (録画ファイルの最後まで再生すると、同じ録画ファイルを再び最初から再生します。)

 : 一回再生 (一回だけ再生します。録画ファイルの最後まで再生し、停止します。)

### ■ 再生ボタン

・録画ファイルの再生や早送りやスロー再生を行うときは、各ボタンをクリックしてください。



 /  : 再生ボタン / 一時停止ボタン

 : 早送りボタン (× 2、× 4、× 8 倍速で再生することができます。)

 : スロー再生ボタン (× 1/2、× 1/4、× 1/8 倍速で再生することができます。)

 /  : 次、または前のファイルに移動します。

# 記録した録画ファイルを保存する

## 1. 静止画変換

表示エリアに表示されている録画ファイルを JPEG 形式の静止画に変換して保存できます。

1-1 再生リストの静止画変換したい録画ファイルをクリックする

1-2 録画ファイルを再生し、静止画変換したい箇所を一時停止する

一時停止方法 (☛ P.33「再生ボタン」)

1-3 [MENU] → [映像] から [静止画変換] をクリックする



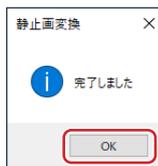
1-4 [表示中の静止画] または [コマ数指定 (選択した静止画から)] を選択し、保存先を指定し [スタート] をクリックする



・表示中の静止画  
現在表示している録画ファイルを静止画に変換します。

- ・コマ数指定 (選択した静止画から)  
表示エリアの録画ファイルから範囲指定した時間分をコマ数指定した数で分割し、静止画を作ることができます。  
※ 選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数が反映されます。  
※ 保存される静止画の枚数は、秒数×コマ数になります。

1-5 保存が完了すると、「完了しました」と表示される



[OK] をクリックすると再生画面に戻ります。

## 2. バックアップ

SD カードに記録されているファイルをパソコンなどにバックアップできます。

※ バックアップしても記録した録画ファイルは削除されません。録画ファイルを削除するときは、録画データ削除を行ってください。(☛ P.42)

2-1 [MENU] → [映像] から [バックアップ] をクリックする

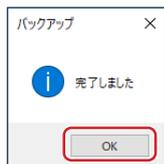


## 2-2 バックアップしたいファイルに を入れ、保存先を指定し [スタート] をクリックする



- バックアップ用に作成したフォルダを指定します。
- ※ [全て選択] に  を入れると SD カードに記録されているすべての録画ファイルがバックアップの対象になります。
  - ※ 複数のファイルを一度にバックアップすると、時間がかかる場合があります。

## 2-3 保存が完了すると、「完了しました」と表示される



[OK] をクリックすると再生画面に戻ります。

## 専用ビューアソフトで設定を変更する



設定変更を行う場合は必ず SD カードをリーダライターに挿入してご使用ください。「SD カードへ保存」をクリックすると設定内容が SD カードに保存されます。SD カードを本体に装着し、本体を電源 ON すると設定内容が反映されます。

### 1. 記録設定

 (記録設定) をクリックすると、各種の設定変更や SD カードメンテ初期化、SD カードからの録画ファイルの削除を行うことができます。

#### ■ 解像度

記録する録画ファイルの解像度を選択します。

| 解像度 | 1080P HD、720P |
|-----|---------------|
|-----|---------------|

※ 初期値は [1080P HD] に設定されています。

## ■ 録画コマ数

1 秒間に記録する録画ファイルのコマ数を選択します。

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 録画コマ数 | 60、30、15、10、5 コマ/秒 |
|-------|--------------------|

- ※ 初期値は [15 コマ/秒] に設定されています。
- ※ 録画コマ数により 1 ファイルあたりの記録時間が変化します。
- ※ [60 コマ/秒] に設定すると画角が変わります。(▶ P.51)

## ■ シャッター速度

シャッター速度を [標準] [高速] から選択します。

記録した映像を再生した際に、動いている被写体がぶれてしまう場合はシャッター速度を [高速] に変更してください。

- ※ 初期値は [標準] に設定されています。
- ※ シャッター速度を [高速] に設定すると、映像が暗くなり、記録映像のノイズが大きくなる場合があります。絞りを調整するか、ライトなどを準備し、被写体の照度を高くして記録してください。
- また、以下の症状が出る場合がありますので、映像をご確認の上、ご使用ください。
  - ・ 暗闇での撮影は映像の明るさが不安定になる場合があります。
  - ・ 光源によっては映像にフリッカーノイズが発生する場合があります。
- ※ シャッター速度 [高速] は録画コマ数が 60 コマ/秒、30 コマ/秒の時に選択できます。

## ■ 音声記録

音声記録の [ON][OFF] を選択します。

- ※ 初期値は [ON] に設定されています。

## ■ 音声出力

音声ガイダンスの [ON][OFF] を選択します。

- ※ 初期値は [OFF] に設定されています。

## ■ 映像の回転

映像の回転を [0 度] [180 度] を選択します。

- ※ 初期値は [0 度] に設定されています。
- ※ 天井などに吊り下げて使用する場合は [180 度] を設定してください。

## ■ 字幕の位置設定

表示される字幕 (録画日時) の位置を選択します。

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 字幕の位置 | OFF/ 右下/ 右上/ 左上/ 左下 |
|-------|---------------------|

- ※ 初期値は [右下] に設定されています。

## ■ 上書きモード

SD カードの空き容量が不足したときの録画ファイルの保存方法を選択します。

- ※ 初期値は [ON(常時+イベント)] に設定されています。

|                 |  |
|-----------------|--|
| ON<br>(常時+イベント) | SD カードの容量がいっぱいになると古いファイルから順に書き換わります。       |
| ON<br>(常時のみ)    | SD カードの容量がいっぱいになると常時録画のみ古いファイルから順に書き換わります。 |
| OFF             | 容量がいっぱいになると録画ファイルは保存されません。                 |

## ■ 外部トリガ設定

外部トリガ入力を [OFF][シングルトリガ][マルチトリガ] から選択します。(▶ P.18)

- ※ 初期値は [シングルトリガ] に設定されています。

## ■ イベント記録時間

イベント前とイベント後の記録時間を選択します。

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| イベント前 | 1 分、3 分、5 分、10 分      |
| イベント後 | 0 分、1 分、5 分、10 分、20 分 |

- ※ 初期値はイベント前 [3 分] イベント後 [1 分] に選択されています。

## ■ 常時録画最小記録時間

本機ではイベント記録が発生すると、EVENT フォルダにファイルを移動します。EVENT フォルダのファイルが増えると、NORMAL フォルダに記録できる常時録画の容量が減るため容量の下限を常時録画最小記録時間で設定します。

10 分～ 24 時間 00 分の間で設定できます。

- ※ 初期値は [10 分] に設定されています。

## 2. 日時設定

### ■ タイムゾーン

本機を使用する地域を設定します。

※ 初期値は [UTC +09:00 日本] に設定されています。

### ■ 日時補正の方法

日時を補正する方法を [自動] [手動] から選択します。

[自動] では本機の GPS 機能で日時を補正します。

[手動] を選択し、「設定する」に  を入れ、日付や時刻を設定することもできます。

※ 本体の電源 ON すると SD カードからデータを読み込み、日時を修正します。

手動設定する場合は現在時刻ではなく、次に本体の電源 ON する日付や時刻を想定して設定してください。

※ 初期値は [自動] に設定されています。

## 3. ネットワーク設定

### ■ 接続先アクセスポイント登録

「登録する」に  を入れ、接続先アクセスポイントを登録します。

### ■ 機器ネットワーク設定

本機の IP アドレスを設定します。

※ 本機を工場や事務所など管理されたネットワークに接続する場合、ネットワーク管理者へご相談ください。

## 4. SD カード情報

### ■ SD カード情報

最後に行った SD カードメンテ初期化実施日時を表示します。

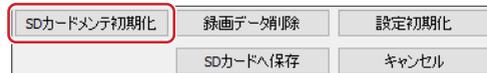
## 5. SD カードメンテ初期化

SD カード内のファイルをすべて消去します。別売品の SD カードをお買い上げ後初めて使用する際、工場出荷時の状態に戻す場合、SD カードからの読み込みが遅くなった場合、また、1～2 週間に一度、必ず SD カードメンテ初期化を行ってください。

※ パソコンによる SD カードのフォーマットは行わないでください。本体が正常に動作しなくなる場合があります。SD カードフォーマットを行う場合は、専用ビューアソフトで行ってください。

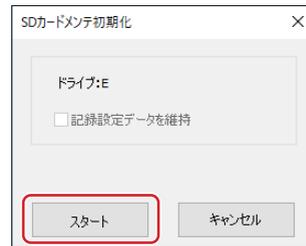
※ 必ず SDHC、SDXC 規格に対応した SD カードリーダーライターや、使用する SD カードの規格に対応したカードスロットを備えたパソコンをご使用ください。SDHC、SDXC 規格に対応していない場合、SD カードを認識していても SD カードメンテ初期化が正しくできないことがあります。

### 5-1 [SD カードメンテ初期化] をクリックする



※ [MENU] をクリックし、[SD カード] から [SD カードメンテ初期化] をクリックしても同じ画面表示になります。

### 5-2 SD カードメンテ初期化を設定し、[スタート] をクリックする



#### ・ 記録設定データを維持

SD カードメンテ初期化を行っても、記録設定データを維持します。

を外すと工場出荷時の内容に戻り、記録設定データは初期化されます。

### 5-3 [OK] をクリックする



確認メッセージが表示されます。  
中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

### 5-4 [OK] をクリックする

「SDカードの初期化が完了しました。」の確認メッセージが表示され、SDカードメンテ初期化が完了します。

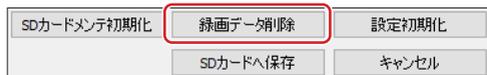
## 6. 録画データ削除

録画データを削除します。

※ SDカード内に記録された録画ファイルを削除します。

※ いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した録画ファイルを保存しておきたい場合は、録画ファイルをパソコンなどの別の場所に保存してください。(▶ P.35)

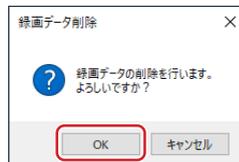
### 6-1 [録画データ削除] をクリックする



### 6-2 [録画データ削除] に を入れ [OK] をクリックする



### 6-3 [OK] をクリックする



### 6-4 [OK] をクリックする

「録画データの削除が完了しました。」の確認メッセージが表示され、[OK] をクリックすると記録設定画面に戻ります。

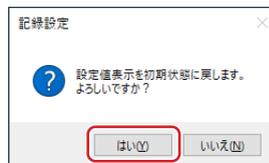
## 7. 記録設定データ初期化

記録設定項目を工場出荷時の状態にリセットします。

### 7-1 [設定初期化] をクリックする



### 7-2 [はい] をクリックする



設定が工場出荷時の状態に戻ります。

## 8. 専用ビューアソフトを終了する

### 8-1 専用ビューアソフト右上の **✕** をクリックする



専用ビューアソフトが終了します。

- ・ [MENU] → [終了] でも同様に専用ビューアソフトが終了します。

## ブラウザで本機を操作する

本機をネットワークに接続すると、ブラウザで映像の確認や操作、設定変更を行うことができます。

接続方法及び使用方法は弊社ホームページを参照ください。

FA2102: <http://www.yupiteru.co.jp/manual/fa2102>

FA1103: <http://www.yupiteru.co.jp/manual/fa1103>

## 録画ファイルの読み出しについて

本機で記録した映像は、通常の動画ファイルと同じようにパソコンで動画再生ソフト使い、再生できます。対応 OS や動作環境に関する最新情報は、弊社ホームページをご確認ください。

- ※ Windows のアップデートや仕様変更などにより、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※ 本体とパソコンを、直接 USB ケーブルなどで接続しないでください。
- ※ 本体から SD カードを取り出して、SD カードをパソコンと接続してください。
- ※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ※ 再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
- ※ CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなる場合があります。
- ※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のファイルが破損することがあります。

### ■ ファイル名について

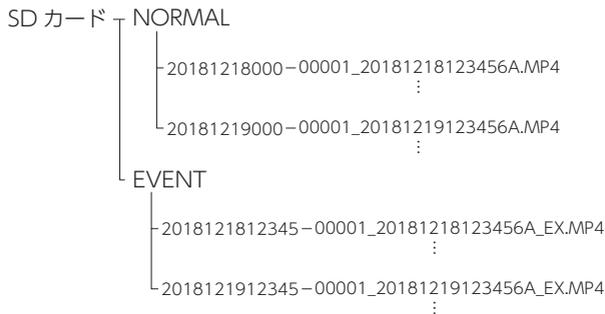
例 00001\_20181218123456A.MP4

記録日時  
(記録した年月日、時間)  
※ 外部トリガ発生時の  
イベント記録ファイル  
末尾には「\_EX」が  
付きます。  
機器 ID 下 5 桁

その他

## ■ フォルダ構造について

各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されます。



## 1. 専用ビューアソフトを使用せずに録画ファイルを再生する

### 1-1 リーダーライターをパソコンに接続する

※ SD カードを直接挿入できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要がありません。

### 1-2 SD カードをリーダーライターに挿入する

### 1-3 SD カードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く

- ・フォルダ名について  
[NORMAL]…常時録画  
[EVENT]…イベント記録

### 1-4 録画ファイルをダブルクリックする

Windows 標準の Windows Media player で再生することができます。

## 故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度以下のことをご確認ください。

### 電源が入らない

- 電源ケーブルが外れていないか確認してください。  
ランプの状態を確認してください。(● P.50)

### 映像が記録できない

- SD カードが正しく挿入されていますか。  
別売品の SD カードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。電源を OFF し、SD カードを抜き取り、再度正しく挿入してください。(● P.13)
- 記録設定の上書きモードが OFF になっていませんか。  
上書きモード (OFF) の場合、上書きができません。SD カードを取り出し、専用ビューアソフト上で設定を変更してください。(● P.39)
- SD カードを SD カードメンテ初期化して確認してください。  
必要に応じてバックアップを行ってから専用ビューアソフトで SD カードメンテ初期化してください。(● P.41)
- SD カードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。  
別売品の SD カード以外のご使用しないでください。製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。(● P.12)
- 別売品の SD カードを使用していますか。  
別売品の SD カード以外のご使用しないでください。製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。(● P.12)

### 映像が乱れる

- 蛍光灯下で映像を撮影していませんか。  
撮影状況によってはフリッカーノイズが入り、映像に横縞がはいることがあります。  
フリッカーノイズは被写体が明るい場合に発生し易いため、以下の方法で改善する場合があります。
  - ・ 蛍光灯が直接映り込まないようにカメラの向きを調整する。
  - ・ レンズの絞りを絞り込み、光量を抑える。(FA1103のみ)

## 専用ビューアソフトで記録した映像が映らない

- 記録した映像の再生方法がわからない。  
弊社ホームページから専用ビューアソフトをダウンロードし、再生してください。
- 本機で記録した映像ですか。  
専用ビューアソフトは本機で記録した映像のみ再生します。  
(● P.23)

## 記録した音声小さい

- マイクを塞いでいませんか。  
マイク穴を塞がないでください。



## ● リセットボタンについて

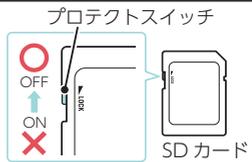
- ・ステータスランプの赤点滅
  - ・電源 ON しているのに録画開始しない
  - ・モニターと HD out 接続しているのに映像が表示されない。
- などの状態になった場合、ペン先などで 1 秒以上押ししてください。



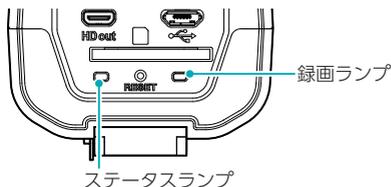
## エラーメッセージ一覧

「ピーピーピー」と音が鳴り、ステータスランプが赤のゆっくりした点滅とともに、以下の音声でお知らせします。

※ 音声出力「OFF」に設定している場合は、「ピーピーピー」音やエラーメッセージは鳴りません。

| エラーメッセージ          | 説明   |
|-------------------|--|
| 常時録画の容量           | 常時録画ファイル容量が SD カード容量の上限に達しています。録画ファイルを削除し、SD カードの空き容量を増やしてください。<br>※ 一度削除した録画データは元に戻りません。必要な録画データは PC へ保存してから削除してください。                   |
| イベント記録の容量         | 専用ビューアソフトでイベント記録ファイルを削除し、SD カードの空き容量を増やしてください。<br>※ 一度削除した録画データは元に戻りません。必要な録画データは PC へ保存してから削除してください。                                    |
| 録画を開始できません。       | SD カードのプロテクト（書き込み禁止）機能 OFF を確認してください。<br>             |
| SD カードエラー         | SD カード異常が考えられます。SD カードをフォーマットしてください。または、新しい SD カードをお求めください。<br>※ 別売品の SD カード以外はお使いしないでください。<br>※ 頻繁にお知らせがある場合は、新しい SD カードを使用することをお勧めします。 |
| SD カードが挿入されていません。 | 別売品の SD カードが正しく挿入されていないときなどは、正常に起動できません。本機の電源を OFF にして、SD カードを再度正しく挿入してください。   |

## 動作一覧



| 動作状態                                  | ランプ   |   | 参照ページ  |
|---------------------------------------|---|---|--------|
|                                       | 録画ランプ(青)  | ステータスランプ(緑・赤)   |        |
| 常時録画中<br>※ 上書き時も同じ点灯パターンになります。        | (青) <span style="color:blue">■</span>   | (緑・赤) 消灯  | ☛ P.17 |
|                                       | 無線 LAN 接続時<br>(青) <span style="color:blue">■</span><br>(緑) <span style="color:green">■</span>   |   |        |
| 外部トリガイベント発生時<br>※ 上書き時も同じ点灯パターンになります。 | (青) <span style="color:blue">■</span> 消 <span style="color:blue">■</span> 消 <span style="color:blue">■</span> 消 <span style="color:blue">■</span>   | (緑) 消灯  | ☛ P.17 |
|                                       | 無線 LAN 接続時<br>(青) <span style="color:blue">■</span> 消 <span style="color:blue">■</span> 消 <span style="color:blue">■</span> 消 <span style="color:blue">■</span><br>(緑) <span style="color:green">■</span> |   |        |
| 電源 OFF                                | (青) 消灯  | (緑・赤) 消灯  | -      |
| 本機異常時                                 | (青) 消灯 または 点灯*  | (赤) <span style="color:red">■</span> 消 <span style="color:red">■</span> 消 <span style="color:red">■</span> 消 <span style="color:red">■</span> | ☛ P.49 |

※ステータスランプが異常を示していても録画を継続する場合があります。

## 仕様

|          |   |
|----------|---|
| 定格電圧     | DC 12V/24V  |
| 消費電力     | 4W (平均消費電力)   |
| 無線通信規格   | 規格: IEEE 802.11 b/g/n 準拠<br>伝送方式: DS-SS 方式、OFDM 方式<br>周波数範囲 / チャンネル: 2.4GHz ~ 2.5GHz / 1 ~ 13 チャンネル<br>セキュリティ: WPA2* <sup>1</sup>                           |
| カメラ素子    | カラー CMOS(STARVIS™ 技術搭載* <sup>2</sup> )  |
| 視野角*     | FA2102 レンズ画角: 対角 131°<br>最大記録画角: 対角 87°<br>(水平 80°、垂直 50°)<br>※ ただし、60 コマ / 秒設定時は<br>対角: 70° (水平: 64°、垂直 39°)   |
|          | FA1103 レンズ画角: 対角 42° ~ 123°<br>最大記録画角: 対角 30° ~ 74°<br>(水平 43° ~ 125°、垂直 21° ~ 57°)<br>※ ただし、60 コマ / 秒設定時は<br>対角: 30° ~ 84°<br>(水平: 26° ~ 74°、垂直 15° ~ 40°) |
| フォーカス範囲  | FA2102 1m ~ ∞   |
|          | FA1103 0.3m ~ ∞   |
| 記録解像度    | 最大 200 万画素  |
| 画像サイズ    | 1920 × 1080、1280 × 720  |
| 画質       | HDR(ハイダイナミックレンジ)  |
| 最低被写体照度  | 1LUX  |
| 録画ファイル構成 | 常時録画: 1 分 (30 コマ / 秒、60 コマ / 秒)、<br>3 分 (15 コマ / 秒、10 コマ / 秒)、<br>5 分 (5 コマ / 秒)  |
| 記録媒体     | SDHC、SDXC カード   |
| 記録形式     | MP4(H.264)  |

|        |   |
|--------|---|
| 録画コマ数  | 60、30、15、10、5、コマ / 秒  |
| 動作温度範囲 | -10℃ ~ +60℃   |
| 外形寸法   | FA2102 : 54(W) × 40(H) × 113(D)mm<br>FA1103 : 54(W) × 40(H) × 158(D)mm<br>※ 突起部除く |
| 重量     | FA2102 : 230g<br>FA1103 : 280g  |
| 防水の種類  | IPX4 準拠 <sup>※3</sup>   |

- ※ 1 : WPA2 は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ※ 2 : STARVIS (スターピス) は、監視カメラ用途 CMOS イメージセンサ向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニー株式会社の裏面照射型画素技術です。
- ※ 3 : あらゆる方向からの水の飛沫によっても内部に有害な影響を及ぼさないレベル。(FA2102のみ準拠)  
雨どいなどから直接水がかかるところは避けて設置してください。

#### ■ FA1103 付属レンズ

|      |           |
|------|-----------|
| 焦点距離 | 2.8 ~ 8mm |
| 絞り値  | 1.2 ~ ∞   |

FA1103 付属のレンズにはマウントのスリッ機能が付いているのでレンズを完全にねじ込んだ後、反時計方向に回すことでレンズの姿勢を調整することができます。

- ・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

## 映像記録時間の目安

別売品の SD カード (16GB) の場合、以下のような記録時間になります。

- ※ 下記表は目安で、絶対保証値ではありません。被写体や周辺環境などの要因により、記録可能時間と件数は変化します。
- ※ 記録可能時間は、常時録画、イベント記録のすべての記録時間の合計です。お使用の状況により、記録可能時間は変化します。
- ※ 32GB の場合は 2 倍の記録可能時間・イベント記録件数になります。

### 1. イベント記録の記録件数目安

|           | 1080P HD | 720P  |
|-----------|----------|-------|
| 60 コマ / 秒 | 22 件     | 29 件  |
| 30 コマ / 秒 | 24 件     | 47 件  |
| 15 コマ / 秒 | 28 件     | 56 件  |
| 10 コマ / 秒 | 39 件     | 79 件  |
| 5 コマ / 秒  | 66 件     | 118 件 |

- ※ 初期値 : イベント前記録 (3 分)・イベント後記録 (1 分) 合計 4 分  
常時録画最小記録時間 (10 分) での最大記録件数  
イベントが起きるタイミングで移動するファイル数が変わるため設定された時間とのイベントファイルの時間は異なります。  
▶ P.16「録画について」

### 2. 記録可能時間の目安

|           | 1080P HD | 720P     |
|-----------|----------|----------|
| 60 コマ / 秒 | 約 119 分  | 約 165 分  |
| 30 コマ / 秒 | 約 132 分  | 約 265 分  |
| 15 コマ / 秒 | 約 284 分  | 約 568 分  |
| 10 コマ / 秒 | 約 398 分  | 約 796 分  |
| 5 コマ / 秒  | 約 663 分  | 約 1327 分 |

## アフターサービス

### ● 保証書（裏表紙参照）

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

### ● 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

### ● 対象部分機器

本体（消耗部品は除く）

### ● 修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、本機に関するお問い合わせ先へご相談ください。

### ○ 保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。

保証書の内容に従って修理いたします。

### ○ 保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はご要望により有償修理いたします。

※ 点検や修理の際、登録したデータが消去される場合があります。

※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

## 本機に関するお問い合わせ先

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

● 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

● 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日

（祝祭日、年末年始など、当社指定期間を除く）

故障相談や取扱方法に  
関する問い合わせ



0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書や専用ビューアソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。

<http://www.yupiteru.co.jp/>